

末広小学校「田んぼアート」及び水利施設について出前授業

末広小学校の児童が創立140周年記念ということで、古代米を使って田んぼアートに挑戦。田植え前日には、ハートマークに「末広140」の文字が浮き出るよう、デザインに杭打ちをし下準備をしました。当日は全校児童20人とその家族、地域農家の方々と力を合わせアートを完成させました。

田植え後は順調にアートが色づいていく状況を記録し、8月中旬には見頃を迎え、9月下旬に稲刈を行った。高学年は鎌を持ち刈り取り、低学年は刈り取りした稲を学校プールのフェンスにはさがけて作業終了。

全校児童20人と少ない学校ですが、一つのことを協力して作業ができる子供達で感心しました。今後も、これから地域を担う子供達に向け農業農村の役割について理解を深めてもらえるような活動を継続していきたいです。



内容	末広小学校全校児童と田んぼアートに挑戦	
期間	5月25日～9月29日	
場所	末広小学校、隣接学校田	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	末広小学校創立140周年記念事業「田んぼアート」制作のお手伝いと、同校4年生に地域の水利施設について出前授業を行いました。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 17%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 13%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 19%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる 12%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 20%/20%	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	地域の限られた人の参加となっている。今後幅広く活動していけるよう取り組みたい	

81%